

You ゆめ Me

第5号

ゆめネットワークセミナー

ボンジュール！日本の学校

「外国人の目には、日本の学校教育はどのように映るのだろう」という思いから、元香川県国際交流員の方を講師に迎え、9月26日にゆめネットワークセミナーを開催しました。



エラリー・ジャンクリストフさんは、6年前、国際交流員としてフランスから来日しました。そして、今年4月に我が子が小学校（丸亀市外の小学校）に入学すると、親として日本の学校にかかわるようになり、そこで、フランスとは違う「日本の学校の当たり前」に混乱したそうです。

どうしていつも男が先？

「入学式でのことです。名前を呼ばれるのも記念撮影も、何でも男の子が先。みんな意識せずにやっているのです。性の区別を目の当たりにしてショックを受けました」

親として何かしたいと、学校に男女混合名簿の導入を提案したところ、「日本の伝統文化だからできない」と言われたそうです。そこで『学校文化とジェンダー（木村涼子著）』などの専門書を読んで、日本の学校教育におけるジェンダー問題を勉強した彼は、「日本で

は男女の区別は制度化されている」と理解できたそうです。だからこそ、私たち日本人では学校の中のジェンダーに気づかない、もし気づいて嫌だと思っても何もできないのだろう、とも指摘されました。

教育が与える影響は大きい

「私がフランス語を教えている県立高校では、女子生徒は4年制大学への進学を希望しないようです。日本では、4年制大学への進学率は女性が低く、短大進学率は圧倒的に女性の方が高いのです。それに、理科系は男子生徒、文科系は女子生徒と、性によって進学傾向が分かれています。なぜなのでしょう」

彼は、小さいころからの教育がそうさせていると感じるそうです。

さらに、「このことは、その後の職業選択にも影響します。例えば、保育士の資格は短大卒で取得できるから、当然、女性の保育士が多くなりますよね。社会の意識が、子どもの世話は、女性



ジェンダー ●社会的、文化的に形成された性別のこと。「男は泣くもんじゃない」「女はおとなしく控えめがよい」などのように、通念を基礎にした男女の区別。

ジェンダー・フリー ●気づかないうちに、私たちが縛りつけているジェンダーから自由になること。「男とは/女とはこういうものだ」と決めつけないで、人間として、自分らしく生きるためのキーワードです。

ゆめネットワーク講演会 ジェンダー・フリー教育って何？

私たちの日常生活の中で再生産されているジェンダー。あなたもかかわっているのです。今回は、教育の中でのジェンダーについて考えてみませんか。

- とき 12月14日(土)・13:30~15:30
- ところ 市民会館第2・3会議室
- 講師 朴木 佳緒留(ほうのき かおる)さん
(神戸大学発達科学部教授)
- 託児 託児(8か月以上のお子さん)をご希望の方は、12月4日(水)までに、お申し込みください。
- 問い合わせ先 岩瀬 (TEL22-9024)
丸亀市秘書課男女共同参画室
(TEL24-8800)

「女性相談」をご利用ください

生活に関する心配ごとなど、一人で悩まないで勇気を持ってご相談ください。あなたと一緒に考えます。相談は無料で、秘密は固く守ります。

- 家庭児童相談室(健康福祉部子ども課内)
と き 毎週月曜日~金曜日(祝日を除く)
9:00~16:00
電話番号 23-2201
- 香川県子ども女性相談センター
と き 毎週月曜日~土曜日(祝日を除く)
9:00~21:00
電話番号 087-835-3211



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

11月20日の5時30分～6時30分
「女性に対する暴力をなくす運動」
期間です

まちづくりグループまるみなフリートーク

- (男女共同参画センターを考える)
- とき 11月20日(水)・13:30~16:00
- ところ 生涯学習センター5階ゆめ
- (絵本とジェンダー)
- とき 平成15年1月25日(土)・13:30~15:30
- ところ 生涯学習センター5階ゆめ
- 問い合わせ先 岡本 (TEL25-0653)

くらしのセミナー

- とき 11月21日(木)・10:00~11:30
- ところ 市役所本館2階夢会議室
- テーマ 冬に向けての省エネ対策
- 講師 吉岡 直司さん(財団法人省エネルギーセンター 四国支部事務局長)
- 主催 丸亀市消費者モニター
- 問い合わせ先 山本 (TEL25-1715)

ドメスティック・バイオレンスについて 話し合いませんか

- とき 11月22日(金)・9:30~11:30
- ところ 生涯学習センター5階ゆめ
- 主催 丸亀市まちづくり女性会議OG会
- 問い合わせ先 山田 (TEL24-2806)

「平塚らいてうの生涯」上映会

- 香川県男女共同参画社会づくり推進モデル事業。
- 「元始女性は太陽であった」は、らいてう25歳の言。日本の女性運動の先駆者です。監督は羽田澄子さん。
- とき 平成15年2月11日(祝)・10:00~、13:15~
- ところ 宇多津ユースプラザ
- 入場料 前売り600円、当日1,000円
- 主催 新日本婦人の会丸亀支部
- 問い合わせ先 近石 (TEL24-1825)



編集後記

ドイツを旅した。駅にはエレベーター、列車には、自転車や乳母車、ベットの乗せる空間もある。車掌は半数以上が女性。「ダンケ」と、笑顔で切符を返してくれる。田舎でバスに乗る。学校帰りの子どもたちでいっぱい。最前列の席を譲ってくれた。窓外に広がる丘の牧草地。木組みの家々。笑顔で手を振る。一期一会の人とのふれあい。紅葉の風景とともに心の彩りとなった。(Y)